

「博覧会の世紀 1851-1970」 プレス内覧会のご案内

長崎歴史文化博物館では「博覧会の世紀 1851-1970」(2021年10月2日(土)～11月28日(日)) 主催:長崎歴史文化博物館、株式会社乃村工藝社)を開催いたします。これに先がけ、プレス内覧会を開催いたしますので、ぜひご取材のほど宜しくお願いいたします。

プレス内覧会

■日時: **2021年10月1日(金) 14:00～**

■会場: 3階 企画展示室



博覧会の世紀 1851-1970 — 日本人を魅了した世界の祭典 —

会 期 2021年10月2日(土)～11月28日(日)
※休館日:10月18日(月)、11月15日(月) 展示替えにより11月1日(月)休室
会 場 長崎歴史文化博物館 3階企画展示室
開 場 時 間 9:30～18:00(最終入館30分前まで)
観 覧 料 大人(高校生以上)=1,000円 小中学生=600円 ※当日料金

主 催 長崎歴史文化博物館、株式会社乃村工藝社
共 催 NBC長崎放送
協 賛 長崎バスグループ、株式会社J&Jヒューマンソリューションズ、JR九州サービスサポート株式会社
監 修 橋爪紳也
後 援 長崎県、長崎県教育委員会、長崎市、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、共同通信社長崎支局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎商工会議所、長崎県タクシー協会、長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、大阪府立大学観光産業戦略研究所、日本ミュージアム・マネジメント学会、全日本博物館学会
助 成 公益財団法人関西・大阪21世紀協会、(公財)長崎バス観光開発振興基金

【概要】

19世紀半ば、世界で最初の博覧会であるロンドン万国博覧会が開かれて以降、今日にいたるまで世界各国で多くの博覧会が開かれてきました。江戸時代から見世物の文化が根付いていた日本で、博覧会はどのように受け入れられ、発展していったのか。本展覧会では、江戸時代の見世物から明治・大正・昭和の博覧会について、長崎で開催された博覧会も交えながら、その歴史を振り返ります。

序章 見世物から物産会、そして博覧会へ

江戸時代、貿易都市として海外に開かれていた長崎は、異文化流入の窓口でもありました。中国船やオランダ船によって長崎にもたらされたゾウやラクダなどの珍獣は、見世物として江戸や大坂、京都を巡業し、人気を集めました。また本草学への関心とともに、集めた物を見せあう本草会や物産会なども盛んに行われ、博覧会にも通じる文化が江戸時代の日本の風土の中で育まれていました。



駱駝図(長崎歴史文化博物館蔵)

第1章 博覧会のはじまり 1851-1911

1851年にロンドン万国博覧会が開かれて以降、フランス、アメリカなど欧米諸国で博覧会が開かれました。博覧会は日本が西洋に広く紹介され、認識された場でもあり、ジャポニズムやアール・ヌーボーなど日本ブームを巻き起こすきっかけにもなりました。日本においては、1872年(明治5)に政府主催による文部省博覧会が、その後、殖産興業を目的とした全5回の内国勸業博覧会が開催されました。



湯島聖堂博覧会 錦絵「天昌平坂聖堂於テ博覧会図」昇斎一景筆
(株式会社乃村工藝社蔵)

世界を魅了した 日本の美術工芸

長崎では、平戸・三川内焼やべっ甲製品などが主力製品として博覧会に出品されました。

平戸三川内焼(長崎歴史文化博物館蔵)



長崎との
関わり

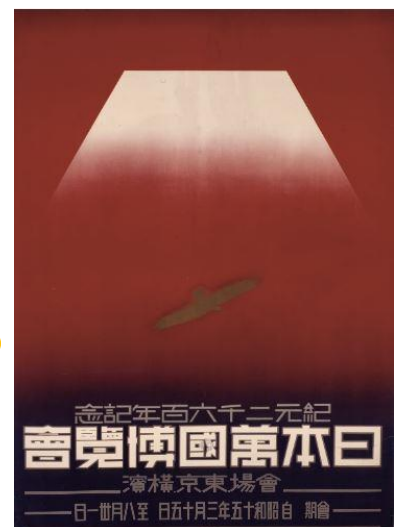
第2章 大衆社会に広がる博覧会

日本は日清・日露戦争での勝利を経て、台湾・樺太を統治下におき、さらに朝鮮を併合するなど、領土を拡大し帝国主義の道を歩んでいきました。国内においては、大正天皇の即位(大正4年)や昭和天皇の即位(昭和3年)などを契機に御大典の祝賀ムードが広がり、それらを記念した博覧会が各地で開催されました。近代的な生活スタイルの流行と相まって、博覧会は都市の娯楽文化として人々の暮らしの中に浸透していきました。

幻の日本万国博覧会

紀元二千六百年を記念し、1940年(昭和15)にオリンピックとともに予定されていた日本万国博覧会でしたが、戦況の悪化により中止を余儀なくされ、「幻の万国博覧会」となりました。公式ポスターに採用された図案は長崎出身のグラフィックデザイナー・中山文孝が手掛けています。

長崎との
関わり



紀元二千六百年記念日本万国博覧会ポスター(AN.2694-37)(京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵)
中山文孝図案

第3章 戦後の博覧会 1945ー

世界中を戦禍に巻き込んだ第二次世界大戦が終わると、平和と復興を願う博覧会が日本各地で開かれました。長崎では1952年(昭和27)に現在の平和公園を会場に長崎復興平和博覧会が開かれました。1970年(昭和45)、アジア初となる日本万国博覧会が大阪で開催されます。183日間で6421万人の入場者を記録し、それまでの国際博覧会の記録を塗り替えました。大阪万博は日本の高度経済成長を象徴する国家イベントとして人々の記憶に刻まれました。

長崎旅博覧会

観光振興の起爆剤として、1990年(平成2年)8月3日から94日間にわたって「長崎旅博覧会」が開催されました。

本コーナーでは、市民から募集した思い出の品々を中心に展示します。

ポスター(長崎歴史文化博物館蔵)



長崎との
関わり

展覧会関連講座・イベント

【お知らせ】

以下の関連講演会・イベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・延期となりました。悪しからずご了承下さい。

【中止】…関連講演会「博覧会の世紀 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に向けて」
日時:2021年10月2日(土)

【延期】…記念メダルづくり 日時:2021年10月3日(日)→**24日(日)に変更**

◎関連講演会(長崎学講座スタンダード)

【テーマ】長崎から見た博覧会

日時:2021年10月31日(日)14:00~15:30

講師:竹内有理氏(株式会社乃村工藝社)

会場:1階ホール

定員:70名 受講料:無料

※電話かFAXで要事前申込み。先着順。

◎ミニペナントづくり

マスキングテープやシールを使って、ミニペナントを作ります。

日時:2021年11月7日(日)

【1】10:30~12:00 【2】14:00~15:30

会場:3階ロビー

参加費:300円

対象:どなたでも

※事前申込不要・随時受付

◎記念メダルづくり

厚紙やアルミホイルで記念メダルを作ってみましょう。

日時:2021年10月24日(日)

【1】11:00~12:00【2】14:00~15:00

会場:1階エントランス

参加費:300円

対象:小学生以上

定員:各回10名

※電話かFAXで要事前申込み。先着順。

当館のプレスリリースは公式HPからも
確認できます。

<http://www.nmhc.jp>



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture



Facebook
<https://www.facebook.com/rekibun/>



Twitter
https://twitter.com/ngs_rekibun



Instagram
<https://www.instagram.com/rekibun/>

